

研 究 紀 要

第 29 号

序 文		
研究論文		
国語科		
国語科における「学ぶ力」を育てる単元学習の実践	川津 啓義	1
— 単元「ことばの有様を考える」を材料として —		
文学作品における読みの指導に関する研究	永島 典男	21
社会科		
『学びとる力』を育てる中学校社会科の授業実践	岩田 靖	41
— 地理的分野「身近な地域・松江」の学習を通して —		
数学科		
確率に関する学習指導についての一考察	関 稔	53
保健体育科		
模倣運動における学び方についての一考察	三成 重雄・宮本 夏子 藤村 昇	69
特殊教育		
養護学級の進路指導について	加田 紀機・足立 克洋 三島 修治・糸賀真由美	79
作 品		
「耐」	川津 啓義	87
「ある日」	桑本 京子	88
昭和61年度本校ならびに本校教官の研究活動	研 究 部	89

昭和 6 2 年 3 月

島根大学教育学部附属中学校

序 文

昭和61年度の研究紀要第29号を発刊し、先生方のお手元にお届けできる運びになりましたことはよろこびに堪えません。ご承知のように、島根大学教育学部附属中学校は(1)教育学部の計画に従って、教育実習を行うことのほかに、(2)教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、中等教育の理論及び実際に関する研究ならびにその実験・実証に寄与することや、(3)本校の教育研究の成果を広く公開し、また公立学校の研究や現職教育に協力して県下の中学校教育の進展に寄与することなどの任務をもっていますが、本校の先生方は指導者として自の指導力を高めるために、個人的にも研究テーマをもって追究し続けております。学校全体として取り組んでおります教育研究の成果は、中学校教育研究発表協議会要項として発刊し、ご指導いただいているところでありますが、個人的に追究した教育研究の成果や教科の共同研究として追究した研究の成果などは、この研究紀要に投稿し、先生方のご指導を頂いているところであります。

今年度の研究紀要は、6篇の研究論文を掲載しております。即ち、

川津啓義：国語科における「学ぶ力」を育てる単元学習の実践

— 単元「ことばの有様」を材料として —

永島典雄：文学作品における読みの指導に関する研究

岩田 靖：「学びとる力」を育てる中学校社会科の授業実践

— 地理的分野「身近な地域・松江」の学習を通して —

関 稔：確率の学習指導における一考察

三成重雄・宮本夏子・藤村 昇：模倣運動における「学び方」についての一考察

加田紀機・足立克洋・三島修治・糸賀真由美：養護学級の進路指導について

であります。川津教諭の論文は、「学ぶ力」の育成のために国語科において、「生徒主体でしかも個別化をねらった学習はどのようにしたらよいか」を追究したものであります。永島教諭の論文は文学教材の指導法の改善をねらいとして、主に指導過程の面から(1)生きた学習場面の設定の必要性、(2)読むことと他の言語活動との関連を重視することの重要性、(3)読書生活指導を基盤におくことの必要性を実証的に追究したものであります。関教諭の論文は2枚の硬貨を投げて、2枚とも表がでる確率を一つの到達点として、それを理解させるのに、それまでの指導過程をどのように組んだら効果的であるかを追究したものであります。三成教諭他2名の共同研究論文は、体操単元において、一連の動き

を学ばせたい場合の生徒の「学び方」とその過程を実践的に研究したものであります。加田教諭他3名の共同研究論文は、本校の養護学級経営上の重要な問題である進路指導をどのように考え実践したらよいかという問題を追究したものであります。これらの論文は、昨年度の研究内容を更に一步深めたもの、全国的に問題にされている「学ぶ力」の育成について実践したものの、当面する経営上の問題点を追究したものまでいろいろであります。

研究論文は利用する立場からいえば、方法論的に正しく適用され、無理なく証拠を集め、そして正しく結論を得たものでなければなりません。学校現場の教育研究に対して、いろいろな方々から意見や批判が寄せられていますが、その主なものをひろってみますと、次のようなものがあります。○文献の探索が十分でない。○研究を再現してみることができない。○主観的な見解の表明に終わっている。○基本仮説や作業仮説の設定がでたらめである。○証拠資料の提示が十分でない。○考察が不十分である。などではありますが、これらの意見や批判は研究そのものに向けられたものや研究論文の作成に向けられたものなどいろいろであります。

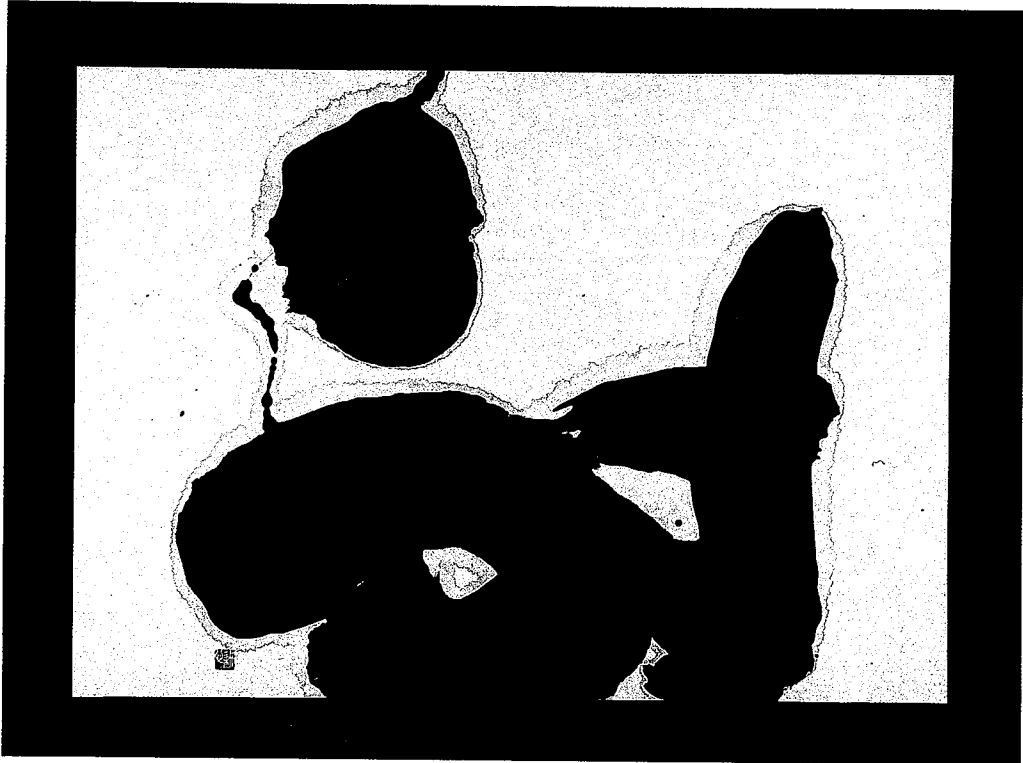
研究の成果が広く利用されるためには、これらの意見や批判は謙虚に受けとめなければなりません。とかく学校現場では文献の探索が不十分であったり、証拠の提示がないまま、主観的な見解の表明に終わってしまう傾向は否めませんが、これらの指摘は、研究に対する基礎基本が十分把握されていないためと思われます。例えば、文献の探索を十分にしないと、研究の方向や内容に影響がでますし、ひいては研究成果にも大きな影響を及ぼすことになることを忘れてはなりません。

ここに発表した研究成果が学校現場の先生方の教育実践に些かでもお役に立てばうれしく思います。何卒ご一読いただき、ご指導の程お願い申し上げます。

昭和62年3月

島根大学教育学部附属中学校

学校長 小林昭三



「耐」 鳥根書道協会展 川 津 啓 義
(会員賞受賞作品)



第54回 独立展 入選作 「ある日」(S 100号)

桑本京子 (独立美術協会会友)

掲載作品は、三点出品した中の一点です。最近^のは日常生活のさりげない一コマをモチーフに、私^のなりの造形美が表出できたらと願っているところです。行けども、行けども遠い道程です。

昭和61年度本校ならびに本校教官の研究活動

研 究 部

1. 共同研究

第30回中学校教育研究発表協議会

(第29回中学校教育研究発表協議会研究報告書)

- (1) 研究主題 学ぶ力を育てる学習 — 学びとる力を引き出す授業の実践 —
- (2) 期 日 昭和61年6月3日(火)
- (3) 講 演 「主体性を育てる学習指導」 大阪教育大学教授 北尾 倫彦 先生
- (4) 全体発表 研究発表(研究の基本構想) 研究部長 川津 啓義
- (5) 公開授業

教 科	年 ・ 組	単 元 また は 題 材	授 業 者	時 限
国 語	1 ・ 3	朗読を楽しむ	間 庭 朗	一 校 時
社 会	2 ・ 1	身近な地域「松江」	岩 田 靖	
数 学	1 ・ 2	整数の性質	奥 村 泰 磨	
理 科	1 ・ 4	加熱と化学変化	西 山 成 信	
音 楽	1 ・ 1	この広い野原いっぱい	田 中 義 浩	
美 術	2 ・ 4	動く飾り	桑 本 京 子	
保 体	3-3・4(女子)	体 操	宮 本 夏 子	
英 語	2 ・ 3	Let's tell a Japanese old story.	田 辺 裕 弼	
特 殊	全 学 年	生活単元学習「木で作ろう」	足 立 克 洋 三 島 修 治	
国語(書写)	1 ・ 4	私の好きな花	川 津 啓 義	二 校 時
社 会	3 ・ 2	個人と社会	錦 織 馨	
数 学	2 ・ 4	不 等 式	関 稔	
数 学	3 ・ 1	二次方程式	岡 賑 悟	
音 楽	2 ・ 2	小フーガ・ト短調	藤 原 正 博	
保 体	1-1・2(男子)	選 択	藤 村 昇	
技 ・ 家	1-3 (共学)	身近な金属製品の設計と製作	中 島 康 博	
技 ・ 家	1-3 (共学)	青少年の日常食	久 我 俊 子	
英 語	3 ・ 4	Let's talk	船 木 亮	

研 究 部

(6) 分科会 (研究発表・協議)

研究協議題

学ぶ力を育てる学習 — 学びとる力を引き出す授業の実践 —

教科	発表者	助言者と司会者
国語	永島典男	島根大 野津 榮 " 木村 東吉 島根大 田中 瑩一 安来二中 田辺 福夫
社会	山崎裕二	島根大 有馬 毅一郎 " 森本 直人 島根大 林 正久 県教委 松浦 厚
数学	岡 賑 悟	島根大 伊藤 俊彦 県教委 吉岡 正至 湖南中 兼本 暢
理科	浜田裕三	島根大 高橋 成和 県教委 川上 幾雄 島根大 坂本 一光
音楽	田中義浩	島根大 藤井 文子 大田三中 菅 沢 弘和 島根大 知念 辰朗
美術	桑本京子	島根大 石野 真 県教セ 寺屋 堂 島根大 高橋 正訓
保健体育	三成重雄	島根大 小玉 耕平 県教委 平江 一郎 島根大 久保田 康毅
技術家庭	久我俊子 中島康博	島根大 藤江 奏 " 大國 博昭 松江一中 島谷 敦子 島根大 太田 昌子 松江三中 岡 清
英語	平野謙治	島根大 大上 寛親 県教セ 佐々木 季治 島根大 森山 善美
特殊	加田紀機	島根大 稲浪 正充 松江養護 高橋 昭 島根大 鯨岡 峻 県教委 小川 義栄

2. 個人研究

(1) 研究発表(口頭)

田中 義浩 ◦ 「5年生合唱指導の実際」 邑智郡教育研究会
(於 川本小学校) S 61. 10. 22

◦ 「5年生合唱指導の指導法」 江津市教育研究会
(於 高角小学校) S 62. 1. 28

山崎 裕二 ◦ 「新しい問題解決学習による人間中心社会科の授業構成」
日本社会科教育学会・全国社会科教育学会合同全国研究発表大会
(於 茨城大学) S 61. 10. 25

昭和61年度本校ならびに本校教官の研究活動

- 「中学校カリキュラムの新構想（社会科）」
昭和61年度教員養成大学・学部教官研究集会
（於 静岡大学） S 61. 11. 28
- 「近世初頭の杵築大社領について」 島根県中世史研究会
（於 婦人会館） S 62. 2. 15
- 平野 謙二 ○「誤答分析」 中国地区英語教育学会
（於 島根大学） S 61. 10. 4

(2) 掲 載 論 文

- 田中 義浩 ○「指導者のための合唱百科 Q & A 合唱団のためのワン・ポイント・アドヴァイス」
保存版 教育音楽別冊（音楽之友社） S 61. 11. 30
- 桑本 京子 ○「生活に生きて働く造形能力を求めて」
形 forme（日本文教出版社） S 62. 1
- 足立 克洋 ○「2月の学級経営 学級文集づくりのアイデア」
発達の遅れと教育（日本文化科学社） S 62. 2. 1
- 永島 典男 ○「問い続ける読み手の育成をめざして」
月刊 国語教育研究 No.172（日本国語教育学会編） S 61. 9
- 錦織 馨 ○「中学校段階の社会科ノートによる診断」
社会科教育別冊 No.9「学び方を育てる社会科ノート指導」（明治図書）
S 61. 8. 10

(3) 著 書

- 西田 雄行 ○「学校現場における実証的な教育研究の進め方と論文の書き方」（単著）
（東洋館出版社） S 61. 5. 25
- 「身近な自然を生かした生物教材の研究」
全国理科教育センター研究協議会編（東洋館出版社） S 61. 7. 31
- 「理科教育指導用語辞典」
北沢弥吉郎・栗田一良・井手耕一郎編（教育出版） S 61. 11. 15
- 川津 啓義 ○「教育評価展望Ⅱ第3号 自己学習能力を育てる 梶田毅一編（明治図書）
S 62. 3
- 加田 紀機 ○「実践精神遅滞児の教育 中高等部 編」
日本教育大学協会特殊教育研究会編（第一法規） S 61. 9
- 山崎 裕二 ○「歴史教育の視点を求めて」
佐藤照雄先生還暦記念論集刊行会編（教育出版センター） S 61. 5. 31
- 西山 成信 ○「島根の自然は生きている」
島根県小中学校理科教育研究会編（日本標準） S 61. 9. 1

(4) 作品・演奏

- 川津 啓義 ◦ 「耐」 島根書道協会 (松江センチュリービル) S 61. 10
- 加田 紀機 ◦ 「ダウンタウンメルボルン」 松江市教委 (市民美術展) S 61. 9
- 田中 義浩 ◦ 「歌劇 イワン・スサーニン」より「皇帝に捧げし生命」第1回プラバ、ニュー
イヤーコンサート 松江市総合文化センター島根県音楽団体連絡協議会
(プラバホール) S 61. 1. 4
- 「野の羊」「浅間の馬子」 新春うぉーかるこんさと
(プラバホール) S 62. 1. 15
- 桑本 京子 ◦ 「ある日」S 100 第53回独立展 (東京美術館) S 61. 10
- 「アトリエの女Ⅰ」S 100 「アトリエの女Ⅱ」S 100 「アトリエの女Ⅲ」
F 130 第15回独立美術山陰グループ展 (島根県立博物館) S 61. 6
- 「ねこと女」S 100 島根県洋画展 (島根県立博物館) S 61. 6
- 「まいのおもちゃ箱」F 50 第19回総合美術展 (島根県立博物館) S 61. 11